

ふじみ衛生組合リサイクルセンター整備実施計画（案）に対するパブリックコメント等の実施結果について

1 パブリックコメントの概要

- (1) ご意見の募集期間
令和5年6月6日（火）から令和5年7月5日（水）まで
- (2) 周知方法
広報みたか令和5年6月4日号、市報ちょうふ令和5年6月5日号、ふじみ衛生組合、三鷹市及び調布市のホームページ
- (3) リサイクルセンター整備実施計画（案）の閲覧場所
ふじみ衛生組合ホームページの他、ふじみ衛生組合、三鷹市生活環境部ごみ対策課、調布市環境部ごみ対策課

2 市民説明会

- (1) 第1回市民説明会
令和5年6月9日（金）午後7時00分～8時00分
参加者 7人（意見等6件）
- (2) 第2回市民説明会
令和5年6月17日（土）午後1時00分～2時15分
参加者 4人（意見等9件）

3 パブリックコメントの結果概要

- (1) ご意見提出件数：9件（書面提出3人。市民説明会と意見提出で重複あり）
- (2) ご意見とふじみ衛生組合の考え方 別紙のとおり（パブリックコメントについては、原文のまま記載しています。）

現リサイクルセンターの概要及び課題について

(リサイクルセンター整備実施計画(案) 2ページから3ページ 2 現リサイクルセンターの概要及び課題)

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
1	<p>実施計画(案) 3ページの、現リサイクルセンターの課題の説明で、「プラスチックのリサイクル率が56%に留まっている」とのことだが、残りの44%は焼却処理していると認識して良いか。</p>	<p>現在、三鷹市、調布市から年間約8,000トンのプラスチックを受入れています。そのうち、容器包装リサイクル協会に引き渡してリサイクルしているのが、約4,500トン(約56%)。残りの約3,500トン(約44%)はリサイクルできないため、クリーンプラザふじみにて焼却し、熱回収しています。</p>
2	<p>3ページの2-(2) - 「イ プラスチック専用の処理ラインがない」 「処理能力が不足しているため、容器包装プラスチックのリサイクル率は56%に留まっています」とあります。列記されている現在の事情は理解できますが、<u>リサイクル率</u>にこだわらず、新リサイクルセンターの整備期間中においてもCO2をより削減するために、焼却へ回す絶対量の削減に向け努力をお願いします。</p>	<p>新リサイクルセンター稼働後は、プラスチックのリサイクル率の向上が見込まれることから、当組合でのCO2排出量は、現在より大幅に減少する見込みです。 また、ごみの減量に向けて、三鷹市及び調布市と連携し、店頭回収の促進や啓発活動の充実などを図ります。</p>

基本条件について

(リサイクルセンター整備実施計画(案) 6ページから12ページ 6 基本条件)

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
3	<p>本日の説明では、二枚橋の施設は一部事務組合(調布・府中・小金井の各市による組合)の施設から、調布市単独の施設になっており、関心のあった家具のリサイクル(リユース)も富士見町の利再来留館(現在1年間休館中)で引き続き行われるような答弁であった。しかし、これからのリサイクルセンター工事で、野水クリーンセンター(調布市施設)を考えると、将来を見据えた機能の整理分担等が必要な気がする。現時点での考え方はどうか?お示し頂きたい。 (組合と調布市とでよく調整の上、お示し願いたい。)</p>	<p>新リサイクルセンターの処理品目や施設規模については、現在リサイクルセンターにて処理している品目を、将来人口予測をもとに施設規模を算出しています。調布市クリーンセンターにて処理している調布市の粗大ごみ、びん・缶、古紙、古布については、調布市にて独自処理を継続するという考え方をもとに、新リサイクルセンターの施設規模等を設定しています。</p>
4	<p>建物は、どのくらいの大きさなのか。平面図で示しているが、高さ・地下はどの程度なのか。地下水への影響はあるのか。</p>	<p>建替えによる建物の大きさは、南北約80メートル、東西約60メートルを想定しており、建築面積は約4,800平方メートルです。高さは調布市の高さ制限いっぱいの25メートルを想定しています。地下9メートル程度に地下水脈があることから、なるべく地下水脈に触らないようにします。ごみピット部分は9メートルよりも深く掘ることを想定していますが、これ以外の部分は地下7メートル程度に留めたいと考えています。</p>

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
5	<p>ごみピットの面積はどのくらいの広さなのか。地下8メートルから10メートルあたりに地下水脈があると記憶しているが、間違いはないか。ごみピットの部分は、地下水脈の部分に達し、9メートルまで到達するのか。</p>	<p>ごみピットは、容量（縦、横、深さ）で計算します。容量としては、約14,000立方メートルを想定していますが、プラントメーカーの設計により寸法が決まります。現時点では、プラントメーカーが決まっておきませんので、具体的な深さをお答えすることができません。なお、ごみピットの深さは、「7メートルよりも深くなる」とご理解いただければと思います。焼却施設のごみピットは、18メートル掘っています。新しいリサイクルセンターについても、今後、プラントメーカーからの提案を受け、面積及び、深さを決定します。</p>
6	<p>9ページ「6 基本条件（3）施設規模」 市場では今、ペットボトルや複合素材の容器包装プラスチック類についての水平リサイクル技術が開発されつつあります。同一素材をリサイクルする場合、事業者自らが回収した方がリサイクルがしやすいきれいなものを集められるので、その方向に進む可能性は大きいです。 したがって、<u>施設規模が過大にならないよう</u>、最新の市場動向を見つめながら幅を持った計画を立ててください。 10ページ（4）建築計画「ア 設計コンセプト(イ)」や、「イ 環境への配慮」におおいに期待しています。</p>	<p>施設規模等は、将来人口を考慮して算出しています。</p>

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
7	<p>クリーンプラザふじみとの連携について。現在は焼却施設と隣り合わせで稼働している。同じ敷地内で可燃ごみも不燃ごみも処理できるのはメリットと考えている。クリーンプラザふじみで発電した電気や熱は、どのくらい活用できるのか。CO₂を回収する実証実験をしているが、工事期間中にプラスチックを焼却するという事なので、実証実験に活用できるのか、説明してほしい。</p>	<p>クリーンプラザふじみを建設する際、どこに建設するかという議論がありました。既存施設であったリサイクルセンターと、焼却場の2つの施設を近くに造れば連携することができるということも理由のひとつとなり、ふじみ衛生組合の敷地内にクリーンプラザふじみを建設した経緯があります。クリーンプラザふじみで発電した電力量は、年間約4万メガワットアワーで、売電量は約2万6千メガワットアワーです。金額で示すと、売電で年間約4億円から5億円程度の収入があります。このように、焼却場は、ごみを燃やすだけではなく、エネルギーを有効活用できる施設となっています。三鷹市中央防災公園・元気創造プラザへ、電気と温水を供給しています。新しいリサイクルセンターも、クリーンプラザふじみから電力供給をすることとしています。</p> <p>一方で、ごみ焼却により年間約3万トンのCO₂を排出しています。この対応として、CO₂回収の実証実験を実施しています。ただし、実証実験の規模としては、全体の1,000分の1程度しか回収できていない小さな実証実験なので、将来は回収量を増やすとともに、回収したCO₂の活用に取り組みます。</p>
8	<p>実施計画（案）11ページの「イ 火災・爆発対策」について。（エ）「・・・大量の水や泡等による消火設備を設置します。」と記載があるが、PFAS含有のものではないことを確認したい。</p>	<p>全国的に、リチウムイオン蓄電池等による火災が多発している状況です。環境にも配慮した施設とする計画であることから、どのようなものが環境にやさしく、消火しやすいものなのかを検討して導入したいと考えています。</p>

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
9	<p>粗大ごみに関しては三鷹市の令和二年の排出量は2,040 t、令和三年の排出量は1,957 tであり、コロナ禍で排出量が増えていると考えられるが、実際のところ現行の予約システムの性質からしても上限の件数を超過して予約ができることは無いため、「計画処理量の算出」に記載の「1805.33t/年」は適当ではなく、近年の最大値（2,040t）を基準にして想定することが必要ではないか。</p> <p>また、三鷹市ごみ対策課には別途ご相談させていただいているが、三鷹市の排出量にカウントされていない（ふじみ衛生組合以外に搬出されている）家庭系多量ごみは年間約536tほどの排出量が想定される。したがって令和二年の最大値2,040 tに約536 t足した2,576 tを年間の想定排出量とするべきだと考えられる。ふじみ衛生組合の稼働日数を261日とすると一日当たり約9.87 tの処理が必要となり、現在計画中の処理能力8t/5hでは処理しきれない可能性が高い。</p> <p>8t/5hの処理能力であれば多少の稼働時間延長により、約9.87tの処理は可能とも考えられるが、あくまでも平均値であり、長期休み明けや繁忙期の最大値の想定をどのようにお考えか、また合わせてその際の貯留スペースはどの程度確保されているのかお教えいただきたい。</p>	<p>三鷹市の令和2年度粗大ごみ処理量は、2,040 tですが、このうち、ふじみ衛生組合リサイクルセンターに搬入される不燃系粗大ごみは、1,063 tでした。新しいリサイクルセンターの粗大ごみ処理量については、現在ふじみ衛生組合リサイクルセンターにて処理している不燃系粗大ごみの処理量（実績）をもとに、将来人口を加味し算出しています。なお、新しいリサイクルセンターの、各ごみ種別ごとの施設規模（処理量）については、年度ごとの将来ごみ量を推計するなかで、最大値を採用しています。</p> <p>万一処理しきれない場合は、稼働日数や稼働時間で調整したいと考えています。</p>
10	<p>大規模災害発生の際、粗大ごみが大量に発生することが予想される。</p> <p>三鷹市・調布市において災害発生時の粗大ごみ発生量の想定は公表されていないものの、【神戸市地域防災計画】では阪神・淡路大震災時の不燃系ごみの増加率は年間で172.56%と記載されている。特に災害発生直後は400%以上の発生量となり、低下傾向を示し始めるまで6か月を要したとの記載もある。</p> <p>防災機能を設けている施設として上記データを考慮し、粗大ごみの施設規模は他品目よりも大きな規模で施設規模を算出すべきではないか。</p> <p>（貯留スペースをどの程度確保できるかにもよるが）</p>	<p>災害廃棄物の仮置場は、三鷹市及び調布市において確保することとしています。ふじみ衛生組合においても、できるかぎり災害廃棄物を建物内に保管できるスペースを設けたいと考えています。</p>

整備手法について

(リサイクルセンター整備実施計画(案) 13ページ 7 整備手法)

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
11	リサイクルセンターの工事期間中は、プラスチックを焼却するとのことだが、この期間中にプラスチックを排出する場合、燃やせるごみとして出すことになるのか。	工事期間中の3年間だけ出し方や分別を変えてしまうと、市民の皆さんが混乱する可能性がありますので、ごみの分別と出し方は変わりません。リサイクルセンターの工事期間中は、プラスチック類をリサイクルできないため、焼却処理し熱回収することとしますが、新しいリサイクルセンターが稼働したのち、リサイクルを再開します。
12	プラスチックとペットボトルを可能な限りリサイクルしながら工事をするということが、どの程度リサイクルできるのか。	以前の基本計画では、全量焼却するという計画でしたが、市民の皆さまから「少しでもリサイクルしてほしい。」という要望を受け、ペットボトルについては、工事期間中もふじみ衛生組合構内に一定の広さの貯留場所を確保し、年間20%程度をリサイクルしたいと考えています。また、仮に、三鷹市・調布市で新たにペットボトルを置く場所がみつかれば、活用することができれば、さらにリサイクル率は向上することが見込めます。
13	工事期間中に、三鷹市環境センターや、外環道の中央ジャンクションの上を3年間だけ使用してプラスチックやペットボトルの処理をすることはできないか。検討したことはあるのか。使えるのであれば使ってほしい。いつまでに判断できるか。	三鷹市や調布市の施設使用については、各市の取り組みであるため、ふじみ衛生組合では回答できません。

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
14	<p>13ページ 「7 整備手法」 「プラスチックは熱回収（焼却）」とありますが、食品トレーなどの容器包装プラスチックも店頭回収を促進する施策を強化してください。「ペットボトルは両市におい拠点回収や店頭回収を推進するとともに」とありますので、食品トレーなどの店頭回収促進とともににおおいに期待を寄せているところです。</p> <p>いずれは、<u>ペットボトルを自治体収集品目から除外</u>することを念頭に置いた施策を考案ください。</p> <p>市場動向を日々研究されていることと思いますが、さらに情報収集し、有効なものは積極的に施策に反映してください。</p> <p>小学4年生の施設見学の際にペットボトルつぶし器（名称不明）を配布しているとの説明でしたが、これそのものがごみにならないようツボを押さえた学習を行ってください。</p> <p>【参考】</p> <p>・セブン公式 ペットボトル回収機について教えてください ペットボトル回収機について お問い合わせ (sej.co.jp)</p> <p>・薬の包装シートをリサイクル 第一三共系、横浜で実験 - 日本経済新聞(nikkei.com)</p>	<p>現在、三鷹市・調布市両市は、スーパーなど販売店との連携を図っているところです。今後も店頭回収につながるよう、市民啓発についても、より一層両市と連携して取り組みます。</p>

付帯機能計画について

(リサイクルセンター整備実施計画(案) 16ページから20ページ 7 整備手法)

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
15	<p>資源物について。プラスチックや缶などは圧縮する工程までを行っているが、その後どうなっているのか、市民の皆さんはわかっていないのではないかと思う。ふじみ衛生組合での処理工程のあと、どうなっているのかを見える化してほしい。</p>	<p>新リサイクルセンターでは、環境学習機能を設け、リサイクルの流れなどが理解できるような施設にしたいと考えています。</p>
16	<p>武蔵野市の施設は、環境啓発に力を入れていて、子どもを連れて行って遊ばせたり学習できたりしていた。クリーンプラザふじみは土日に見学できないため、子どもを連れてくるのができない。新リサイクルセンターは、市民が来やすい施設にしてほしい。</p>	<p>現在、クリーンプラザふじみは、月曜日から金曜日までは自由見学可能となっておりますが、土日は休館しています。新リサイクルセンターは、土日開館を原則とするよう考えています。環境教育の充実とともに、市民が来やすい施設を目指します。</p>

工事期間中の環境負荷について

(リサイクルセンター整備実施計画(案) 23ページ 13 工事期間中の環境負荷)

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
17	<p>23ページ「13 工事期間中の環境負荷」 「工事期間中はプラスチック及びペットボトルの熱回収(焼却)によりCO₂が約16,000 t/年増加すると想定しています。」</p> <p>CO₂排出量が基本計画より約1,000 t/年減少していることは評価できます。</p> <p>しかし、<u>CO₂削減は世界規模で喫緊の重大課題</u>となっていることから、事業スケジュール中にCO₂削減のさらなる技術革新の見込みは大きいです。したがって、新たな技術の取入れも視野に、CO₂削減に取り組んでください。</p>	<p>ごみ焼却により年間約3万トンのCO₂を排出しています。この対応として、CO₂回収の実証実験を実施しています。ただし、実証実験の規模としては、全体の1,000分の1程度しか回収できていない小さな実証実験なので、将来は回収量を増やすとともに、回収したCO₂の活用引き続き取り組みます。</p>

その他

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
18	<p>ごみ処理関係の進捗について、理解に欠落している可能性があるかもしれないので、教えてほしい。</p> <p>①今、二枚橋衛生組合はあるのか。</p> <p>②粗大ごみから再生される家具について関心がある。これについて、引き続き二枚橋衛生組合跡地で再生家具の販売を行うか。</p> <p>③今回説明があった工事とは直接関係ないのか。</p>	<p>①以前は、調布市、府中市、小金井市で構成する一部事務組合（二枚橋衛生組合）で、焼却処理施設の管理運営をしていましたが、平成22年3月に解散しました。現在は、その跡地で調布市のクリーンセンターと小金井市のリサイクル施設が稼働しています。</p> <p>②粗大ごみとして回収したもののうち、程度の良い家具等については、調布市富士見町にある「利再来留館（りさいくるかん）」にて再生・販売しています。</p> <p>③今回説明しているふじみ衛生組合リサイクルセンターの更新工事とは直接関係ありません。「利再来留館」は、中央自動車道調布インターの高架下の土地を、NEXCO中日本から借用して開館している施設ですが、現在は、中央自動車道の耐震改修工事のため休館しています。</p>
19	<p>複合素材のレトルトパックなどは、焼却処理することとなるのか。</p>	<p>複合素材についても、汚れが付着しているか否かでリサイクルの可否が変わります。汚れが付着している物はリサイクルに適さないため、焼却処理しています。</p>
20	<p>水平リサイクルについて。シャンプーなどの詰替パックもリサイクルできることをニュースで知った。このことについて、どのくらいの市民に浸透（理解）されているのか把握しているか。</p>	<p>ふじみ衛生組合では把握していません。水平リサイクルは、メーカー独自の取組として回収ルートを設定し、販売した物を自ら引き取るということを行っています。</p> <p>水平リサイクルの事例として、ペットボトルを回収しペットボトルへ再生する取組みが、現在約30%程度実施していると聞いており、将来は50%程度まで向上するのではないかとされています。</p>

No.	ご意見	ふじみ衛生組合の考え方
21	<p>ふじみ衛生組合と三鷹市・調布市の担当部署とが連携を密にすることにより、<u>焼却量の減少につながる有効な施策が実施されることを希望します。</u>日常業務が優先になりがちとは思いますが、数十年後の焼却施設再整備にもつながることですので、常に「焼却量減少」を念頭に置いて業務を遂行していただきたいです。</p>	<p>新リサイクルセンター稼働後は、プラスチックのリサイクル率の向上が見込まれることから、当組合での焼却量は、現在より減少する見込みです。</p> <p>また、ごみの減量に向けて、三鷹市及び調布市と連携し、店頭回収の促進や啓発活動の充実などを図ります。</p>
22	<p>焼却施設整備時に、年を経た見事なヒマラヤスギ(?)の大木が何本も伐採されました。現在敷地内には見る影もなく剪定された3本の大木が残るばかりです。これらはまた伐採されてしまうのでしょうか。心が痛みます。</p>	<p>建替工事に支障のある樹木については必要最低限の範囲で伐採等を行います。樹木については、環境に配慮し、できる限りの保全に努めます。</p>